

生徒会役員選挙 立候補演説会

昨日（10月13日）生徒会長及び議長の立候補演説及び選挙が行われました。生徒会長等の選出は、生徒会規則に則って選挙管理委員会が運営し、公正な選挙によって選出されることが望めます。生徒自らが選挙管理規則に従って役員選挙を運営することにより、生徒会活動は、自治的な活動であるということを一層自覚することになります。さらに今回は、投票の流れを学ぶことで主権者として積極的に投票しようとする意欲や態度を身につけさせるという目的も加わって実施されました。

演説は感染症対策から校内放送によって行われました。生徒会長立候補者の岩木凱政さんは、明るく地域との関わりが多い学校であることや、教員と生徒、生徒同士あいさつができることに触れ、当たり前前（の）のことが当たり前前にできる邇摩高校の長所を生かしながら、よりよい学校づくりに貢献したいと述べました。反面、服装や列車通学でのマナーは注意を受けることもあり、生徒の皆さんと改善していきけるよう頑張り、生徒の皆さんが気持ちよく学校生活が送れるよう呼びかけたり、意見箱を設置したりして協力して生徒会を運営していきたいと決意を述べました。

生徒会議長立候補者の大國凌雅さんは、議長に立候補した理由として、先輩たちが築いた伝統を受け継ぎ、楽しい行事、楽しい学校、元気で笑いの絶えない邇摩高校を創っていききたいことと、中学校での議長経験を生かしてみんなの意見をまとめ立派な議長としてその役割を果たしたいと話しました。

その後、投票箱や記載台を借用し、本番さながらの環境で体育館で学年ごとに選挙が行われました。生徒会長、議長とも立候補者が1名でしたので、信任投票となりましたが、生徒たちは順次体育館で投票を行いました。

学校における自分たちの生活の充実・発展や学校生活の改善・向上を目指すために、生徒の立場から自発的、自治的に行われるのが生徒会活動です。今の1年生が3年生になった年度から、18歳成人となることから、一市民として大人の意識を持って学校生活の自治意識を高めていくことが必要となってきています。よりよい学校づくりからよりよい地域づくりのために、集団生活や人間関係の諸問題から課題を見だし、その解決に向けて自分の役割や責任を果たすなど自発的、自治的に取り組むことを通して大人になるための資質を身につけ、伸ばしてほしいと思います。

昨日は5時間目に3年生進路激励会も行われました。私のはじめの10分間、校長激励の言葉ということで話をしましたが、生徒全員が輝く目でまっすぐ前を向いて、背筋を伸ばして話を聞いている姿に、3年生がこれまで行ってきたことへの自信や、これから向かう企業や大学等へ挑戦する意欲、そして将来社会の形成者となって活躍する、という気概までもが伺え、これまで邇摩高校を創ってきてくれた3年生を頼もしく、そして嬉しさも感じました。

